

ガバナー月信

第2640地区 2015年8月(2)



Be a gift to the world

2015-16年度の国際ロータリー会長に就任するK.R. ラビンドラン氏は、同年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」としました。ラビンドラン氏はロータリー会員に、より良い世界をめざして、時間、才能、知識を世界中の地域社会に贈るよう呼びかけます。「ロータリアン会員が自らを『プレゼント』することによって、世界中の人びとの生活を真に改善できるのです」

新しい会員特典プログラム「ロータリーグローバルリワード」

航空会社、レンタカー会社、ホテル、レストランなどで割引が受けられる「ロータリーグローバルリワード」。7月1日から始まったこのプログラムは、ロータリー会員なら誰でもご利用いただけます(My ROTARYへの登録が必要です)。参加企業はこれからもどんどん増えていきます。My ROTARYの「会員コーナー」で頻繁にご確認ください。

2015-2016年度 国際ロータリー 第2640地区ガバナー事務所

- ・住所 〒640-8043 和歌山県和歌山市福町20-2 ハイッツフローラル福町302号
- ・TEL 073-433-6077
- ・E-mail office@2640.jp
- ・ホームページ <http://www.2640.jp>



RI会長からのメッセージ

K.R. ラビンドラン

2015-16年度会長

2015年8月

1930年代、オランダ人の大工オーレ・キアク・クリスチャンセンは、次の言葉が刻まれた木製の板を壁に掛けていました。「Only the best is good enough(最高でなければ良いと言えない)」。今日、クリスチャンセンは、世界中の子どもに親しまれているプラスチック製のカラフルなブロック、「レゴ」の発明者として知られています。創設当初のレゴ社の代表的商品は、樹齢を重ねたブナ材で作られたアヒルのおもちゃで、ニス塗りを3度施した品質の高いものでした。レゴ社の歴史によると、クリスチャンセンはこの木製アヒルを使って、息子のゴッドフレッドに品質の大切さを教えたそうです。ゴッドフレッドは次のように語っています。

「ある晩、私は、事務所に入ると、父にこう言いました。『今日はいいい日だったよ、お父さん。ちょっと良かったんだ』。『それはどういうことだい』、『デンマーク生協に納品するアヒルを2箱、駅まで届けてきたところなんだけど、いつもはニスを3度塗るところを、今回は生協なのでニスを塗るのは2度だけにコストを少し削減したんだよ』。すると、父は失望した様子で、次のように言いました。『ゴッドフレッド、その箱を今すぐ取り戻し、中のアヒルを全部出して3度目のニスを塗りなさい。それが済むまで寝てはいけない。すべてお前一人ですべてやりなさい』。父は断固とした口調でした。品質とは何かを、この時に教えられたのです」

今日、レゴの品質の高さには定評があり、その製品は世界で最も人気があるおもちゃです。世界に存在するレゴブロックの数は、一人あたり86ピースにもなります。

レゴ社の成功が、その事業方針、つまり品質、効率、イノベーションへのこだわりに起因していることはよく知られています。これをロータリーのガバナンス(統括統括)とアカウントビリティ(説明責任)における私たちの努力と比べると、私たちは求められている水準を常に満たしているとは思えません。

国際ロータリー、ゾーン、地区、クラブのリーダーは、ガバナンスにおいて最高水準を維持しなければなりません。RI会長とRI理事は、会員に対してしっかりと責任を果たさなければなりません。ゾーンのリーダーは、ロータリーから自らに託された投資への見返りを示さなければなりません。地区のリーダーは、地区でダイナミックなリーダーシップを発揮し、財務の透明性と報告に力を注がなければなりません。クラブのリーダーは、各種報告義務を果たし、ロータリークラブ・セントラルにクラブの活動状況を入力しなければなりません。

クリスチャンセンが質の劣った商品の出荷を拒んだように、私たちも、自らの仕事において力を抜くことを拒むべきです。特に職業やロータリーでの活動において、常に最高を目指さなければなりません。

ロータリーが提供する製品は何でしょうか。それは木製のアヒルでもプラスチック製のブロックでもありません。それは、教育、水、保健、平和であり、希望、そして人生そのものです。私たちの仕事は、「最高でなければ良いと言えない」のです。「世界へのプレゼント」になるために最善を尽くすことを、どうか忘れないでください。



2015－2016年度 ガバナー 豊澤洋太郎



地区内の会員の皆様にお知らせいたします。8月が「会員増強・新クラブ結成推進月間」と変更になりました。

またゾーンの戦略計画委員会より各地区のクラブの状況の暫定レポートが届いております。2640地区はMyRotaryへの登録が他の地区と比較して低いところにあります。会長・幹事様よりクラブ会員の皆様に登録の必要性和重要性をご説明いただき各クラブの登録者の増加にご協力いただきますようお願い申し上げます。又その上で長期計画の策定も併せてお願いいたします。レポートを拝見しますと当地区の特徴は40歳未満の会員数が他地区に比べて極端に少ない地区となっております。反面女性会員の比率は多くなっております。女性会員は現状維持をしながら、若い会員の増加が見込めれば力強いパワーのある地区に生まれ変われる可能性がございます。地区の会員様のご協力をお願いいたします。また青少年関連委員会は今年から新しい取り組みを始めております。ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、ROTEX、米山記念奨学生、RYLA、が共に横の繋がりを持つと活動を開始しております。この動きは必ずや大きなうねりとなることと確信しております。9月にはローターアクトとインターアクトが協力して交流会行事を計画しているとのこと。インターアクト、ローターアクト、ロータリアンと繋がる行事が行われることは今後のロータリー活動、会員増強にも良い影響を及ぼすものと思われま

す。地区内青少年交換の関係クラブの皆様には大変ご心配をおかけ致しましたが青少年交換委員長が制限時間ぎりぎりです決まりました。会員の皆様には委員会でご協力をお願いすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。皆様のご協力ですべての若者の夢が実現することを願っております。関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

各クラブから新会員入会のご報告が数多く届いております。今年度もご協力ご支援のもと地区運営を行ってゆく所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

また、8月はロータリーの特別月間が改正されて初めての「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。7月のクラブ会員数報告を拝見いたしますと、7月入会者が約30名余りと増加の傾向にあります。しかし、拡大に勝る増強はないとも言えますので、クラブ拡大に甚大なご協力をお願いしたいと思います。

ロン・バートンRI会長からのメール



Ron D. Burton
President, 2013-14
T +1.847.866.3025
F +1.847.866.3390
ron.burton@rotary.org

2014年4月29日

3F Nishiei Bldg. 2-27-1, Habu-Cho
Kisiiwada City, Osaka
Japan 596-0825

地区ガバナー 久保 治雄様

この度、第2640地区が2015-16年度ガバナーを選出する2度目の手続きを完了したと伺いました。直前ガバナーの北中登一氏が実施した1度目の選出手続きでは、2012年9月に豊澤洋太朗氏を選出し、同年10月にRIへ必要書類を提出しています。これに対して当時、異議や選挙手続きに関する申し立てはRIに一切提出されませんでした。

ところが、久保様がガバナーに就任後、豊澤ガバナーノミニーは失職したとの通知を発行の上、2度目の選出手続きが実施されました。2014年3月に完了したこの2度目の選出手続きでは、2015-16年度ガバナーとして新たに岡本浩氏を選出するとの通知が地区内クラブに送られました。

ここでご留意いただきたい点は、1度目のガバナー選出手続きは正規に実施されたものであり、豊澤ガバナーノミニーを失格とする根拠がないことです。さらに、地区ガバナーには、既に完了したガバナー選出手続きを無効としたり、選出済みのガバナーノミニーを失格とする権限はありません。

従って、豊澤洋太朗氏が第2640地区2015-16年度地区ガバナーであることをここに確認し、ロータリーの「超我の奉仕」の精神の下、久保様をはじめ地区内すべてのロータリアンが豊澤氏をサポートするようお願いいたします。またこの点について、至急、地区内クラブへ通知を行ってください。岡本浩氏については、将来の地区ガバナー候補としてご検討いただくことを奨励いたします。

第2640地区における論争は未だ解決に至っていないことから、小沢一彦管理委員に引き続き、私の特別代表となつていただくことを依頼し、恒久的な解決に向けた調整をお願いしました。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトも、2014-15年度に小沢管理委員が続けて調整役を務めることに同意しています。

第2640地区が相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区内ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。まずはこれまでの紛糾を過去のものと考えてはじめて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を実現するための真の奉仕に取り組むことができるはずです。

ご協力をよろしくお願いいたします。

ロン・バートン

CC: ゲイリー・ホアン 2014-15年度RI会長
小沢一彦 ロータリー財団管理委員
松宮 剛 RI 理事
北 清治 RI 理事
ジョン・ヒューコ RI 事務総長

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」

地区運営方針

1. ロータリーの基本に戻り、奉仕と友愛を基調とした地区運営を目指す。
2. 地区内クラブの理解度不足による意見の相違を解決する。
3. 地区の各種会議をウェビナーで行う。
4. 地区内のクラブは年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除できる。
さらに、地区は、この年齢層の会員の地区賦課金を減額できる。

2015-16年度 地区目標

1. ロータリーの基本を学ぶ
2. 財団をサポートする
3. 会員増強に努める
4. 青少年活動を推進する

数値目標

会員増強 1クラブ純増 最低1名
新クラブ 最低1クラブの結成
財団寄付 200ドル/会員
ポリオ・プラス 50ドル/会員
米山奨学 20,000円/会員

ロータリーの特別指定月間

ロータリーの特別指定月間は、2015年7月1日より変更されます。

日本は独自のプログラムである米山記念奨学月間とロータリーの友月間が追加されております。

8月: 会員増強・新クラブ結成推進月間

9月: 基本的教育と識字率向上月間

10月: 経済と地域社会の発展月間

11月: ロータリー財団月間

12月: 疾病予防と治療月間

1月: 職業奉仕月間

2月: 平和と紛争予防／紛争解決月間

3月: 水と衛生月間

4月: 母子の健康月間

5月: 青少年奉仕月間

6月: ロータリー親睦活動月間

特別指定月間 会員増強・新クラブ結成推進月間



地区会員増強委員会
委員長 豊澤たつみ

8月は新しくロータリーの特別指定月間として「会員増強・新クラブ結成推進月間」と名称が変更されました。

2640地区に於きまして、ガバナーの増強目標は1クラブ最低1名以上の増強が目標となっております。今年度、MyRotaryから地区内の2015年7月1日現在の会員数を見てもと、1,932名となっております。2014年6月30日の会員数が1,912名、2015年6月30日の会員数が1,919名、7名の増加で会員の減少に歯止めがかかったようです。しかし、昨年度2クラブの拡大がされたにもかかわらず1年間の増強が7名ということは、今年度のガバナー目標の10%の増強に過ぎず、いかに会員増強が難しいものかを裏付ける結果となっております。

新しい会員を探す多くの場合、入会の理由となっているのは「地域社会への奉仕」と「親睦・友情」です。まだロータリークラブに入会していなくても、同じような機会を探している人が大勢いるはず。そのような人びとをロータリーの奉仕プロジェクトや親睦イベントに招き、ロータリーを実際に体験してもらいましょう。仲間とともにより良い地域社会づくりに貢献できるのがロータリークラブです。

また、新入会の会員様に対して、新会員オリエンテーションを行いロータリーの歴史、奉仕部門、ロータリー財団といったトピックを中心に情報を提供し、ロータリーへの理解を深めてもらいましょう。

クラブのウェブサイトの利用も重要なカギとなります。定期的にホームページを更新し、ソーシャルメディアを有効に活用することも、入会候補者をひきつけるカギとなります。

新クラブ設立の機会

以下のような場合に、新クラブの設立を検討してみてください。

- まだクラブが存在しない地域がある
- 自分のクラブに新会員をそれ以上入会させることができない
- 例会曜日と時間の都合がつかない会員(または入会候補者)がいる
- オンラインで例会に参加することを希望する会員がいる

新クラブをつくるには？

まず、地区ガバナーまたは地区拡大委員会に連絡しましょう。設立プロセスを監督し、新クラブの承認を行うのは、これら地区リーダーです。設立に際しては、以下の条件に留意してください。

- 新クラブの創立会員は最低20名であること
- 創立会員の少なくとも半数は、クラブが設立される地域社会に居住もしくは勤務していること (Eクラブを除く)
- スポンサークラブ(ある場合)の会員数は最低20名であること

新クラブのスポンサーになろう

新クラブの設立にスポンサークラブの存在が義務づけられているわけではありませんが、設立後1年間、スポンサークラブとして、以下のようなかたちで新クラブの成長を助けることができます。

- 新クラブの設立プロセスを計画、実施する上でガバナー(および特別代表)に協力する
- 新クラブのプロジェクトと活動の立案を手伝う
- ロータリーの方針や手続きを説明する

地区とクラブのための会員増強・維持サポートについて

国際ロータリーは、地区とクラブによる会員増強・維持の活動をお手伝いするため、新会員、元ロータリアン、移転ロータリアンを紹介することを目的としたサービスを提供しております。このような紹介サービスを通じて、過去10年間、地区に入会希望者を紹介した件数は390パーセント増え、毎月平均800件となりました。

その後、2013年8月に新しいウェブサイト(Rotary.org)が導入されたことにより、入会希望者が問い合わせるための新しいオンラインフォーム(「ロータリークラブへのお問い合わせ」フォーム)が追加されました。以前の紹介サービスでは全問い合わせ連絡の内容をRI職員が確認しておりましたが、新しいフォームでは、職員による確認は行われず、直接地区リーダーに送付されています。これは、入会希望者が最寄りのロータリークラブとできるだけ早くつながれるようにすることが目的です。

一方で、会員候補者、元ロータリアン、移転ロータリアンのためのオンラインサービスは絶えず改善が加えられており、また、前年度のガバナーと地区会員増強委員長の皆さまからも、さまざまなご要望が寄せられました(RI職員が全問い合わせの内容を確認する、地区とクラブがこれらの問い合わせを管理・記録するシステムを作る、など)。こうしたご意見を受け、改善が加えられたシステムとフォームが、今年9月/10月に利用可能となる予定です。

それまでの間、ロータリークラブへの入会希望者は、引き続き「参加しよう」のフォームをご利用いただけます(このフォームで送信された内容はRI世界本部が確認します)。または、ウェブサイトのクラブ検索から「ロータリークラブへのお問い合わせ」にご入力いただくことも可能です(このフォームで送信された内容はRI職員による確認は行われません)。なお、これまでと同様、これらのフォームで地区に入会候補者の情報が送信された場合は、候補者が地区内のクラブにふさわしいかどうか地区にご判断いただくようお願いいたします。

2015-16年度、貴地区での会員増強のためにこのオンライン紹介サービスをお役立ていただけることを願っております。何とぞよろしく願いいたします。

元気なクラブ

会員勧誘

会員維持

会員候補者報告書式

一般の人が提出
自己を推薦

会員紹介書式

ロータリアンが提出
自分以外の人を推薦

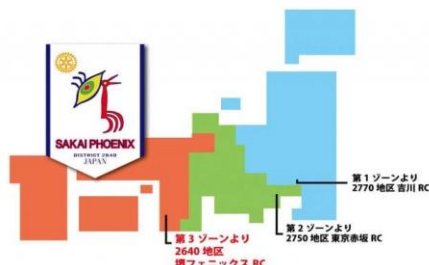
ロータリアン移転書式

ロータリアンが提出
自己を推薦

2015-17 年度 革新性と柔軟性のあるクラブ 試験的プログラム

第3ゾーンでは堺フェニックスRCが選出されました

2640地区 PDG 米田眞理子(堺フェニックスRC)



革新性と柔軟性のあるロータリークラブは、「楽しい」「ダイナミック」「快活」「寛容」「新しいことに挑戦する」「積極的」「会員主導」「結果重視」「意欲を刺激する」「人と人とのつながりを広げる」といった言葉で形容されます。
このようなクラブは、会員基盤を発展させ、多くの人道的奉仕を行い、クラブに対する公共イメージと認識を高めることができます。

この度、RI 理事会は、革新性と柔軟性のあるクラブ試験的プログラムの参加クラブを、200 クラブから 1,000 クラブに拡大することを承認しました。この変更は、2015 年 7 月 1 日から 2017 年 6 月 30 日まで有効となります。

「革新性と柔軟性のあるロータリークラブ試験的プログラム」に関する以下の指針には、本プログラムの目的、試験結果の証明と評価基準、実施プラン、参加資格、選出手続、参加条件、よくある質問とその答えが含まれています。

プログラムの目的

これまでにロータリーが実施したアンケートとフォーカスグループ(座談会)を通じて、会員や入会候補者より、クラブに入会、または留まることができるような柔軟なクラブ運営を求める声が挙がっています。

「革新性と柔軟性のあるロータリークラブ試験的プログラム」で、参加クラブは以下を試験的に取り入れることが認められます：

- ・標準ロータリークラブ定款とロータリークラブ細則への変更(ただし、RI 人頭分担金の要件は変更できません)
- ・会員と地域のニーズに適った独自の運営方法
- ・例会の異なる実施方法や内容
- ・クラブのリーダーや監督の改善
- ・会員や地域のニーズに適った独自の会員資格と要件
- ・例会の出席率から会員の参加へと焦点を移す

試験結果の証明と評価基準

クラブにおける試験の成果は、以下の点から評価されます。

以下の項目における増加または向上

- ・リーダーおよびクラブ運営の効果
- ・会員の満足度と参加度
- ・会員数
- ・会員の勧誘
- ・新会員および現会員の維持
- ・会員の多様性(性別、年齢、民族、職業分類)
- ・クラブと地域社会の相互関係
- ・ロータリー財団に対する支援(プログラムへの参加と寄付)

奉仕プロジェクトと社交活動のバランス

以下の項目におけるプラスの変化

- ・会員の平均年齢の若年化
- ・罰金の徴収、合唱、家族・私的・仕事上の理由で例会を欠席することへの否定的なイメージの改善
- ・クラブのウェブサイトやパンフレットの改善
- ・ロータリーの中核的価値観の推進

Clubs Accepted

2015 - 17 Innovative and Flexible Rotary Club Pilot Expansion

Club Name District Zone Country Yoshikawa 2770 1 Japan Tokyo-Akasaka 2750 2 Japan Sakai Phoenix 2640 3 Japan (2015 年 7 月 10 日)

ラビンドランRI会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)に対して、2015-16年度の目標を提示されました。

2015-16年度 RPIC目標

ラビンドランRI会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)に対して、2015-16年度の目標を提示されました。

我々も、それを実現すべくゾーン毎に(日本は第1ゾーン・第2ゾーン・第3ゾーン)各地区とコミュニケーションを十分にとって公共イメージの向上に努力したいと思います。以下にその目標の概要を記します。

<目的>

RPICは、クラブと地区に対し、情報や広報、マーケティングにおける高度な支援を提供し、さらに地区やクラブのロータリアンが地域の方々にロータリーのストーリーを伝えるための研修を支援します。ロータリーのストーリーを最も効果的に伝えるのは、クラブが実施しているボランティア活動です。RPICの活動はその広報に重点を置く必要があります。

<RPICの優先事項>

- ・地元メディアによる報道の推進
- ・ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進
- ・デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

地元メディアによる報道の推進

以下の項目に関する個別の報道を実現する

- ・奉仕プロジェクト
- ・地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介
- ・地元での行事／募金活動
- ・ポリオ撲滅又は6つの重点分野
- ・交流／ネットワークづくりの機会

ビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進

- ・6割のクラブが、ウェブサイトやソーシャルメディア、出版物(パンフ・推進資料等)において、ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスを導入するようにする。
- ・地区レベルで実際に導入しているクラブを紹介し、他クラブを啓蒙する。

デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

- ・「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドを活用し、ソーシャルメディア研修キットを配布し、その活用を奨励する。

※上記のRPIC目標を実現するために、我々RPICは各地区には様々な協力をお願いしてまいりますので、宜しくお願い致します。

ロータリー囲碁同好会 Go Playing Fellowship of Rotarians

日本支部長 新藤 信之(2750地区PDG)日本支部

104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階

国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内

名誉会長 田中 毅(2680地区PDG)

会長 石井 良昌(2680地区PDG)

GPFR日本支部へのご連絡は下記の専用FAXへお願いします

FAX 03-3452-1652 HP <http://www.gpfr.jp>

今秋の「第14回ロータリー全国囲碁大会」のご案内

拝啓 蒸し暑さの続く中、貴クラブの皆様方、事務局のスタッフの皆様、ご清栄の事とお慶び申し上げます。私ども、囲碁好きのロータリアンで結成するロータリー囲碁同好会(GPFR)日本支部は、以下の要領で「第14回ロータリー全国囲碁大会」を開催いたします。碁盤を通じて交流を図る会ですので、クラブ内の皆様に大会参加を呼びかけて頂きますようご案内をお願い申し上げます。大会は上級者(五段以上)、中級者(三段~四段)、初級者(二段以下)の3クラス制の早碁戦です。個人戦のほか、2人の成績によるクラブ対抗戦も行います。初心者、会員ご家族の参加も歓迎いたします。また、GPFRは台湾、韓国、米国にも支部を持つRI認証の国際親睦グループ(国際奉仕活動)で、毎年春に囲碁国際大会も開催しています。本年5月16日(土)に開催しました国際囲碁大会の詳細は来月の「ロータリーの友」8月号に掲載されます。GPFR活動については上記ホームページをご覧ください。大会参加はメイクアップ(国際奉仕活動)になります。 敬具

<記>

日時 2015年10月3日(土) 09:30登録受付 10:00開会式 16:00表彰式

会場 日本棋院会館本院(東京・市ヶ谷)1階対局場

主催 ロータリー囲碁同好会日本支部

共催 第2580、2750両地区(都内2地区)

ホスト 東京ロータリークラブ

登録料 7,000円(昼食代、賞品等含む)

以上

大会参加のお申し込みは、氏名、地区、クラブ名、年齢(女性は不要)、級段位を明記して、所属ロータリークラブを通じて、上記のGPFR日本支部宛にFAX(03-3452-1652)でご連絡下さい。参加要領等を返信いたします。申し込み締め切り日は9月18日(金)です。

文庫通信(335号)

ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー資料より

- ◎「社会奉仕委員会2013～2014年度事業報告集」 D.2650 2014 168p
- ◎「ロータリー社会奉仕事例集」 前原勝樹編 1976 229p
- ◎「ロータリーにおける『社会奉仕』の対象/決議23-34のタイトル」 鈴木一作 ー ー 5p
- ◎「ロータリー職業奉仕事例集」 前原勝樹編 1975 318p
- ◎「職業とロータリー」 菅生浩三 1993 18p (ロータリー随想 その周辺とともに)
- ◎「RI戦略計画と青少年奉仕」 南園義一 2015 6p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「新世代奉仕RYLA」 田中作次 2015 10p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「光り輝くロータリアン」 藤川享胤 2015 7p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーとは？」 鈴木一作 ー ー 6p

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日